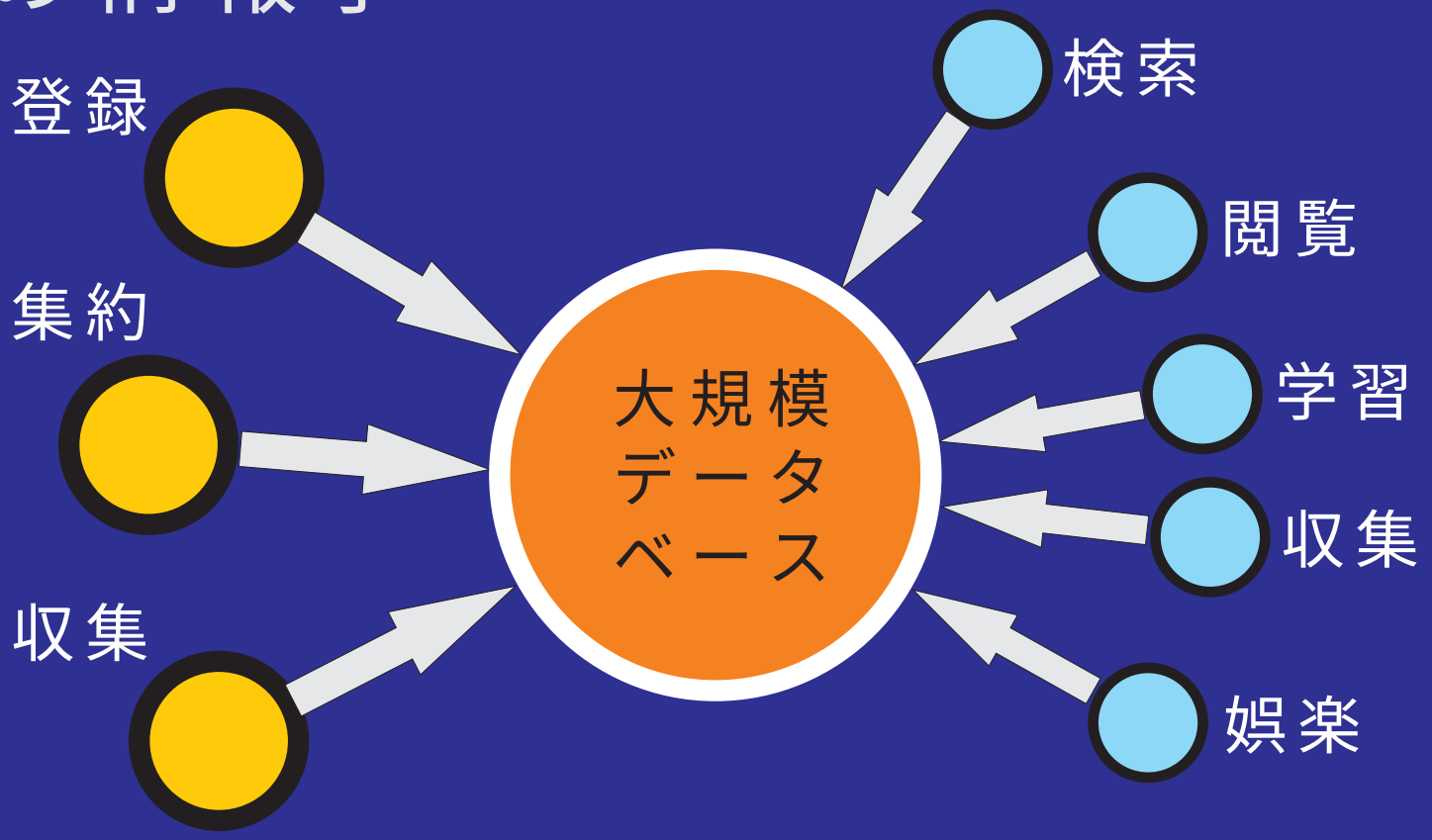
X-informatics:
大規模データベース技術時代の情報学

国立情報学研究所 北本 朝展 http://www.kitamoto.org/



データ生成者　　データ利用者

この世界で日々生まれる大量のデータをどのように扱うかが情報学の大きな課題．
複数のデータ生成者と複数のデータ閲覧者をつなぐカナメとしての技術．
データの網羅性と一貫性，システムの汎用性と多様性，情報品質の確保と公共性．
データから情報へ，情報から知識へ，人間とコンピュータとの共同知的作業．

地球科学情報

http://www.digital-typhoon.org/

太平洋で発生する台風・サイクロンに関連する情報を網羅的に収集し，データベースを公開．台風画像は約５万件．

リアルタイムでのデータベース更新により，現在の台風情報を過去のデータと即座に比較でき，状況理解に寄与．

公開後１年弱のアクセス数５３万件，台風接近時に１日４万件超のアクセス．定常的アクセスには教育への利用も．

文化芸術情報

http://dsr.nii.ac.jp/toyobunko/

書棚に眠る貴重書が世界中からアクセス可能に．本の中身まで電子化することで，検索性や閲覧性が向上．

生物科学情報

http://www.bioportal.jp/

世界中から生成される大量の生物科学情報に日本語でアクセス．専門家だけでなく一般の人もそこで学べるように．

自発的情報集約による即時的情報共有と災害情報への応用

国立情報学研究所 北本 朝展 http://www.kitamoto.org/

デジタル台風

http://www.digital-typhoon.org/

1．リアルタイムの気象衛星画像と台風データの更新による一次データからの把握．

2．台風ニュースの自動収集と自動解析による現況のグローバルな理解

3．台風ニュース・ウェブログによる，個人的な視点からの要約．

もっとミクロでライブな眼が欲しい！

台風への眼：Eyes on the Typhoon

http://eye.tc/

1．台風をみつめる人々の眼を通した台風のライブな実況中継．

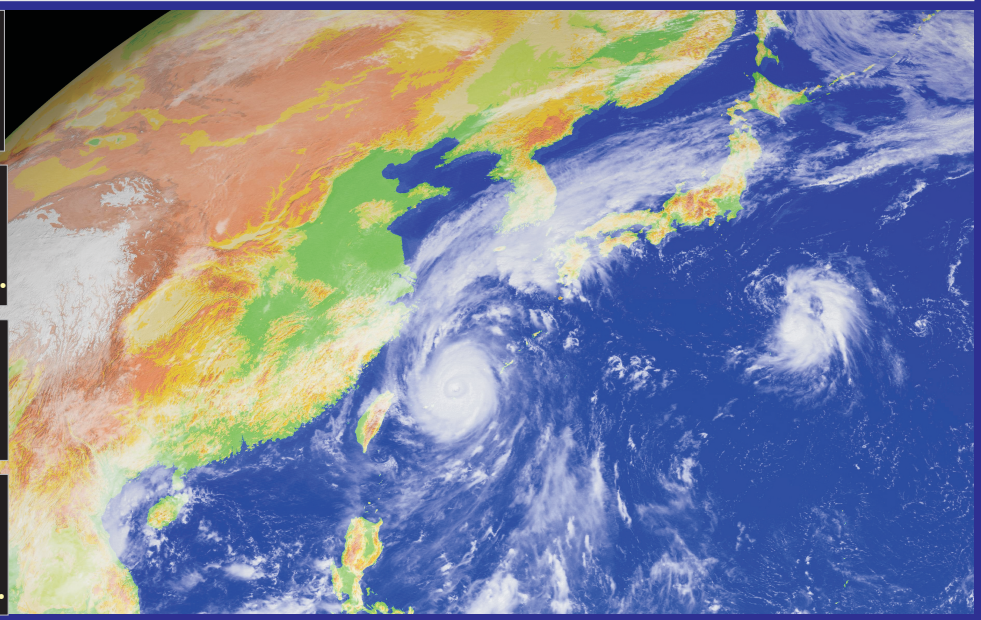
2．デジタルカメラや携帯電話などの「機械の眼」を通した画像・映像によるナマの状況記録．

ウェブログ・トラックバックによる自発的な情報集約．

世界中の人々の台風に関する共通体験を共有しアーカイブ化．

宮古島からの報告
外は大変な状況です．
ガラス窓がたわんでます．

いまの沖縄本島
まだ大したことありません
が風は強くなってきました．

東京在住宮古島好き
宮古島の状況が心配です．
○○地区の状況は？

宮古島○○地区です
携帯カメラで撮った画像
です．木が風で倒れました．